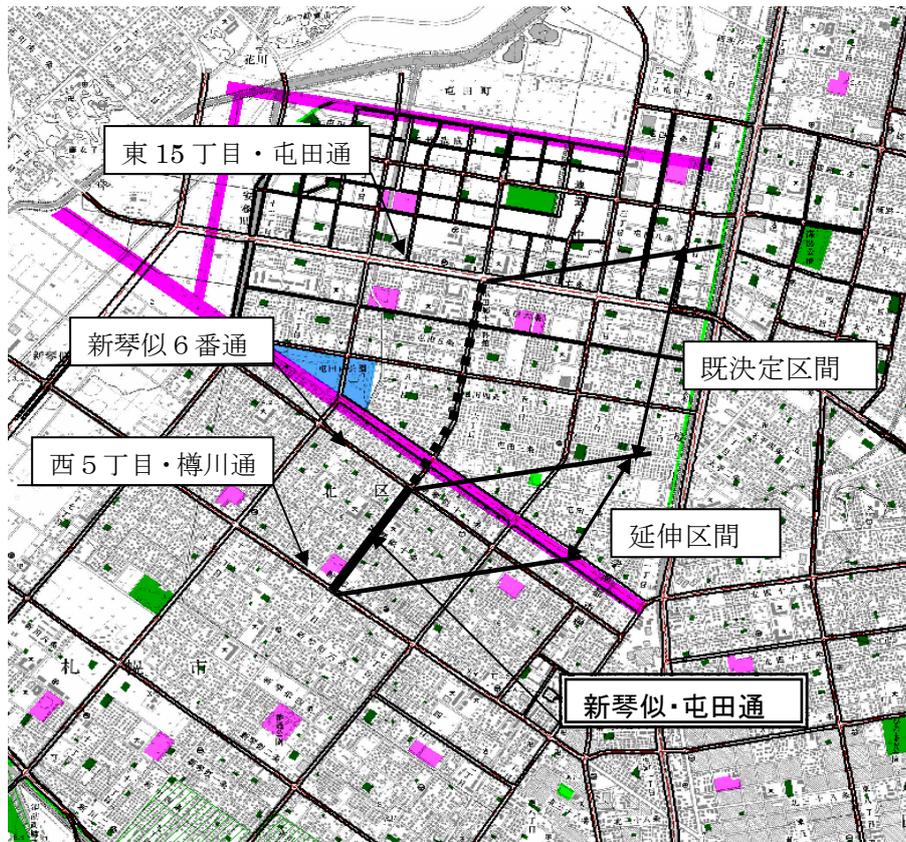


## 新琴似・屯田通の都市計画変更案について



### 1. 都市計画の内容

札幌圏都市計画道路の変更

3・4・615号 新琴似・屯田通の起点を変更する。(延長増 約 750m)  
(2車線：幅員 20m)

### 2. 経緯

当該路線は、新琴似通と西野・屯田通の間に位置しており、道路ネットワーク上重要な路線であり、また、主要なバス路線となっていることから、地域における幹線ともなっている。

しかしながら、現状は幅員が狭く、バスなどの大型車が停車した場合には追い抜きが困難な状況であり、特に冬期間は除雪の雪山によって大型車同士のすれ違いがやっとの状況にある。

このようなことから、昨年度、新琴似 6 番通から東 15 丁目・屯田通までの区間について都市計画決定を行っており、今回、引き続き西 5 丁目・樽川通から新琴似 6 番通までの区間についても同様に都市計画決定を行う。

## 札幌圏都市計画道路の変更【屯田・茨戸通】

### 1 都市計画変更の概要

#### (1) 3・2・616 屯田・茨戸通の新規決定

- 延長 4,450m
- 代表幅員 33m（車道 11m、歩道 6 m×2）

#### (2) 3・4・56 新琴似通の線形変更

- 変更区間延長 310m
- 代表幅員 20m、 変更区間幅員 20m

### 2 都市計画変更の経緯及び理由

屯田・茨戸通は、札幌市北区の屯田町と東茨戸を結ぶ延長約4.5 kmの4車線道路であり、第4次札幌市長期総合計画において札幌市が交通ネットワーク体系に掲げている主要幹線道路網[2連携1環状1バイパス1放射道路]の中で、2つの連携道路の1つである「札幌圏連携道路」（主要道道札幌北広島環状線・主要道道江別恵庭線）の一部区間を成す路線であります。

札幌を中心とする広域圏の自動車交通量は、地域の拠点や周辺都市の発展に伴い、札幌以外の都市間あるいは市内地域間を結ぶ環状方向の交通も増加しており、道央都市圏を環状方向で連絡する連携道路の役割は今後とも重要になっております。

このような状況のなかで、現在ルートが定まっていない追分通の終点から茨戸・福移通の起点までの区間を屯田・茨戸通として新たに都市計画決定し、その後、整備を進めることにより、札幌市の西区、手稲区から、北区、江別市、北広島市を経て恵庭市方面に至る「札幌圏連携道路」の路線全体としての効果を発揮させ、環状方向の交通需要への対応や道央都市圏相互のより一層の交通強化などを目指すものであります。

また、屯田・茨戸通の都市計画決定に伴い、屯田・茨戸通と新琴似通との交差点における交差角を改善するため、新琴似通の一部区間の線形を変更するものであります。